



WHO健康都市おおぶ

平成27年3月12日 愛知県在宅医療連携拠点推進事業成果報告会

幸齢社会の実現をめざして

～誰もが大病で暮らして、幸せを実感できるまち～

大 府 市

在宅医療・介護連携推進会議 会長 安 井 直

事務局：市福祉子ども部福祉課高齢者支援室 室長補佐 多田桐子



大府市
Welcome to OBU City

「みんな輝き 幸せ感じる 健康都市」



WHO健康都市おおぶ

大府市の概要



大府市長 久野孝保



面積	33.68km ²
総人口	89,156人 (H27年3月1日現在)
高齢者数	18,090人 (20.29%)
後期高齢者	7,561人 (8.48%)
人口増減率	6.21% (国勢調査: 22年と17年と比較)



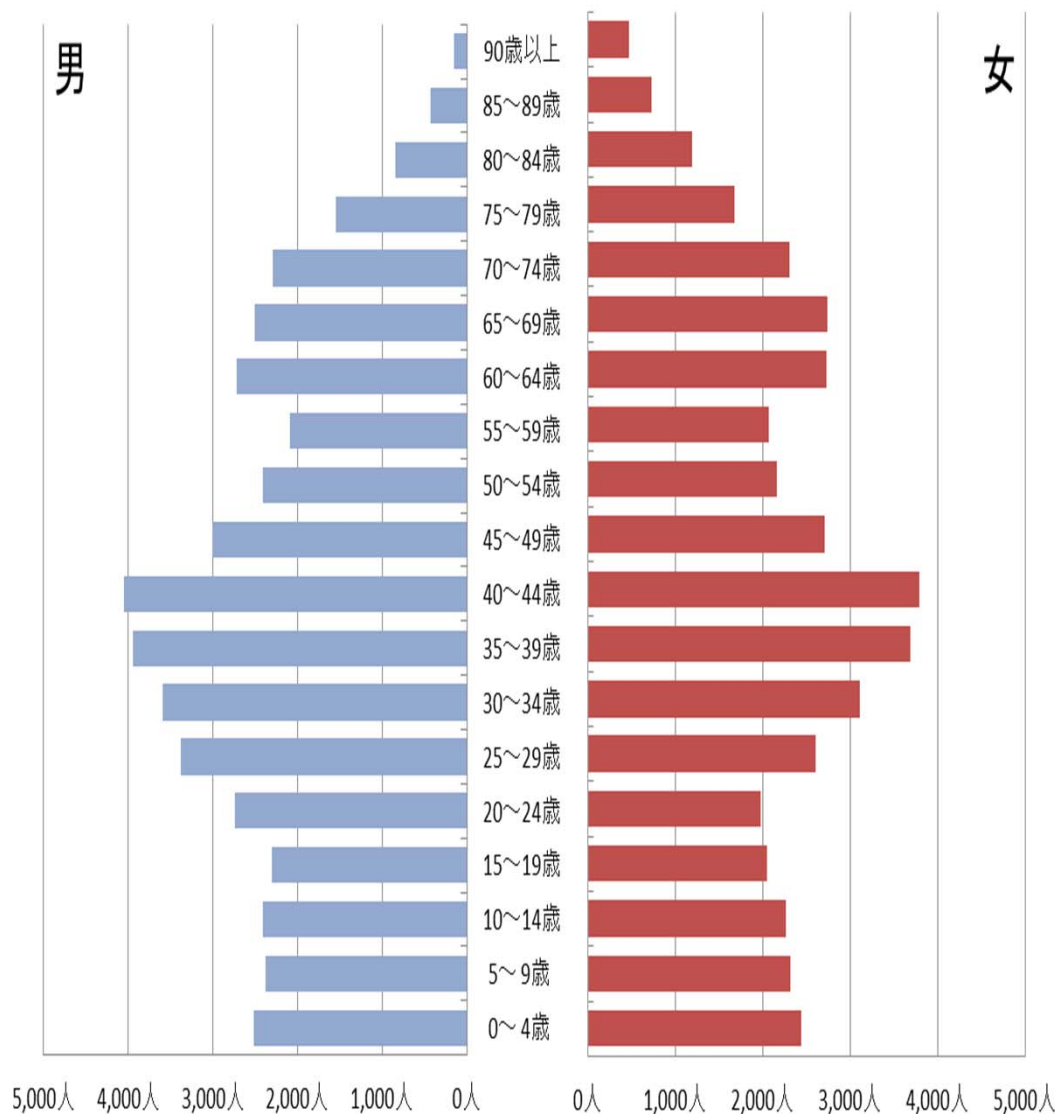
大府市健康づくり
マスコットキャラクター
「おぶちゃん」



大府市
Welcome to OBU City

「みんな輝き 幸せ感じる 健康都市」

1. 大府市の人口ピラミッド



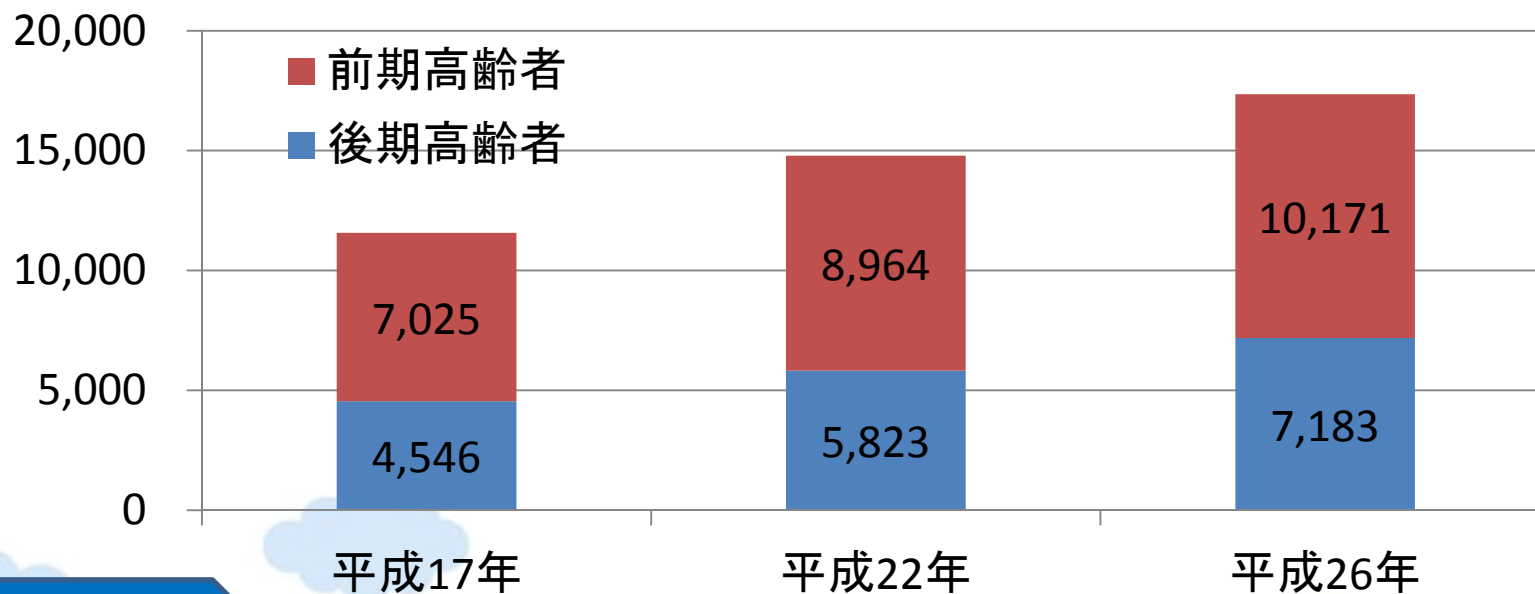
平成25年10月1日現在

1. 団塊の世代よりも
団塊Jr. の方が多い。

2. 2025年よりもそ
の後の2050年に更
なるピークの到来が
予想される。

3. 2050年には下支
えとなる世代の人口
が少ないため、より強
固な体制が必要とな
る。

2. 高齢者人口の推移



高齢者人口に対する
後期高齢者の割合

39. 2%

39. 3%

41. 4%

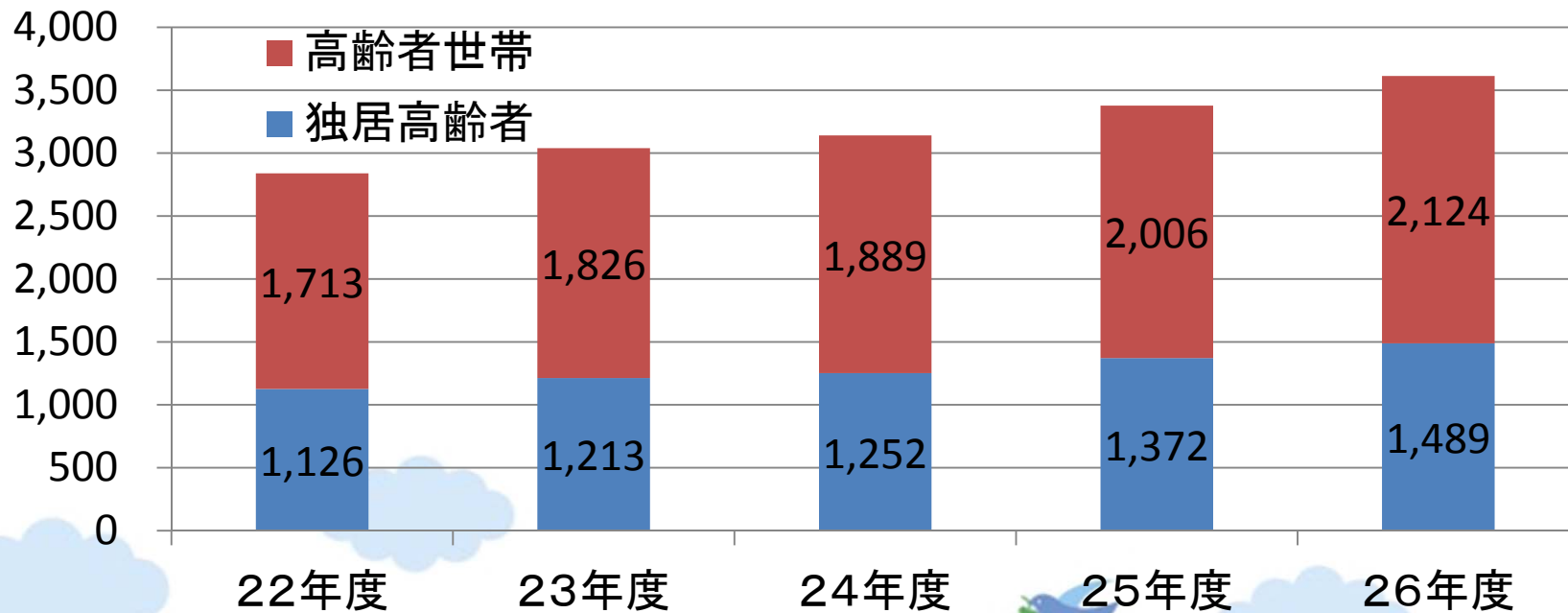


大府市

Welcome to OBU City

「みんな輝き 幸せ感じる 健康都市」

3. 独居・高齢者世帯数



高齢者人口に対する独居の割合

7.61%

8.01%

7.99%

8.31%

8.58%



大府市
Welcome to OBU City

「みんな輝き 幸せ感じる 健康都市」

4. 市内医療・介護資源マップ



☆医療機関

病院・・・4
医科診療所・・・47
歯科診療所・・・39
薬局・・・31

☆介護事業所(定員人)

居宅介護支援事業所・・・28
訪問介護事業所・・・16
通所リハビリテーション・・・3
通所介護事業所・・・23
短期入所生活介護・・・5
短期入所療養介護・・・1
認知症対応型通所介護・・・1
認知症対応型グループホーム・・・6
小規模多機能型居宅介護・・・1
介護老人福祉施設入所者生活介護・・・1
特定施設入居者生活介護・・・1
介護老人福祉施設・・・3(330)
介護老人保健施設・・・1(100)
介護療養型医療施設・・・1(32)

5. 大府市の医療と介護の特徴

- (1) 大府市医師団、歯科医師会、薬剤師会は、月1回(年11回)の定例会議を催しており、同職種毎の連携は図れている。
- (2) 市民は専門医療機関として、国立長寿医療研究センターを始め、近隣の刈谷豊田総合病院、藤田保健衛生大学病院、東海市民病院、南生協病院等に受診している。
- (3) 国立長寿医療研究センター、認知症介護研究・研修大府センター、あいち健康プラザ、あいち小児保健医療総合センター等の世界有数の健康・医療・福祉・介護等の関連の地域資源が集積したウェルネスバレーがある。

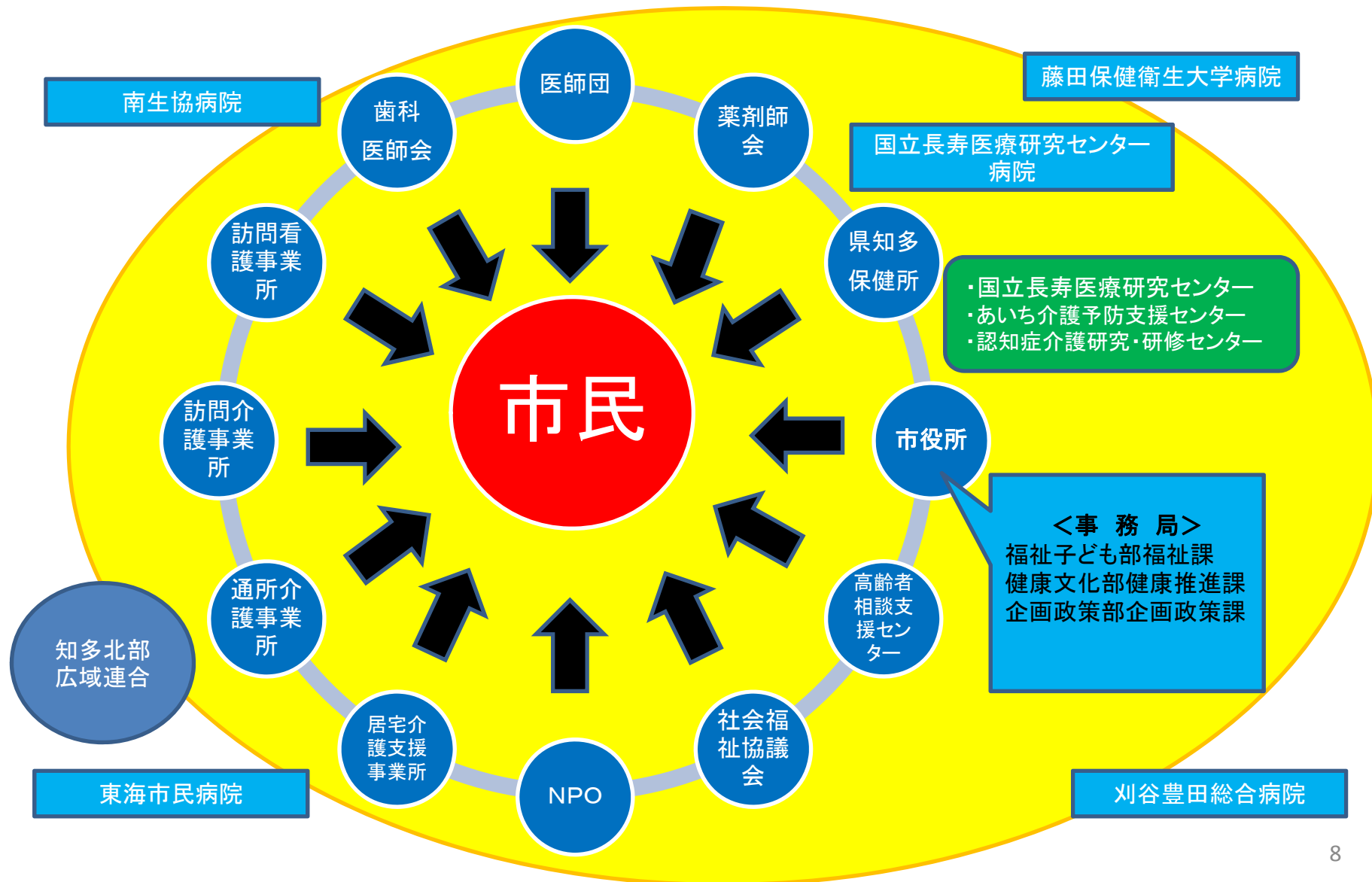
- (1) 知多北部広域連合(大府市・東海市・知多市・東浦町)が介護保険者である。
- (2) 知多北部広域連合内で居宅介護支援事業所数、介護老人福施設の定員数が1位。
- (3) 居宅介護支援事業所連絡協議会、通所系サービス事業所連絡会、訪問介護サービス事業所連絡会があり、同職種での情報交換や三連協合同の研修会等実施している。



大府市
Welcome to OBU City

「みんな輝き 幸せ感じる 健康都市」

6. 大府市の在宅医療の組織図



7. 在宅医療・介護連携推進会議 組織図



代表者会議

課題別ワーキンググループ

情報共有

24時間体制

認知症対応



8. 在宅医療連携拠点推進事業の実際

(1) 在宅医療・介護連携推進会議(代表者会議)

回	日 時	会 場	内 容 等
1	4月14日(月) 午後1時30分～	市役所2階 201会議室	初回顔合わせ(自己紹介)、26年度事業について、アンケート調査について、意見交換
2	5月29日(木) 午後1時30分～	市役所2階 205会議室	在宅医療に関するアンケート結果について(速報)、ワーキンググループ、26年度事業について報告、意見交換
3	7月31日(木) 午後1時30分～	市役所2階 201会議室	在宅医療に関するアンケート結果について、ワーキンググループ経過報告 情報共有(ICTの活用)について意見交換
4	10月9日(木) 午後1時30分～	市役所2階 201会議室	ICTの活用への具体策について、市民啓発についての意見交換 ワーキンググループ等事業報告
5	11月20日(木) 午後1時30分～	市役所2階 201会議室	おぶちゃん連絡帳について、大府市医療・介護ネットワーク協議会について 市民講座について、ワーキンググループ等事業報告
6	1月29日(木) 午後1時30分～	市役所206～ 207会議室	市民講座等のPRについて、おぶちゃん連絡帳を稼働するにあたって 27年度事業計画について、ワーキンググループ等事業報告



大府市
Welcome to OBU City

「みんな輝き 幸せ感じる 健康都市」

8. 在宅医療連携拠点推進事業の実際

(2) 課題別 ワーキンググループ ①情報共有

回	日時	会場	内容等
1	5月22日(木) 午後1時30分～	市役所地下 001～002	合同説明の後、各ワーキンググループ討議 ワーキンググループの進め方、日程の予定
2	6月5日(木) 午後1時30分～	市役所地下 001会議室	多職種の必要と思われる情報、情報共有に必要な情報
3	7月10日(木) 午後1時30分～	市役所2階 201会議室	情報共有ツール 電子@連絡帳とは プチ体験
4	8月28日(木) 午後1時30分～	Allobu2階 会議室3	電子@連絡帳を使った情報共有のデモケース体験
5	9月25日(木) 午後1時30分～	市役所3階 302会議室	有効性の検証
6	1月22日(木) 午後1時30分～	市役所2階201 会議室	講義「おぶちゃん連絡帳の活用方法について」 講師 名古屋大学総長補佐 水野正明先生 名古屋大学システム情報室長 杉下明隆先生 グループワーク「おぶちゃん連絡帳の利活用について」

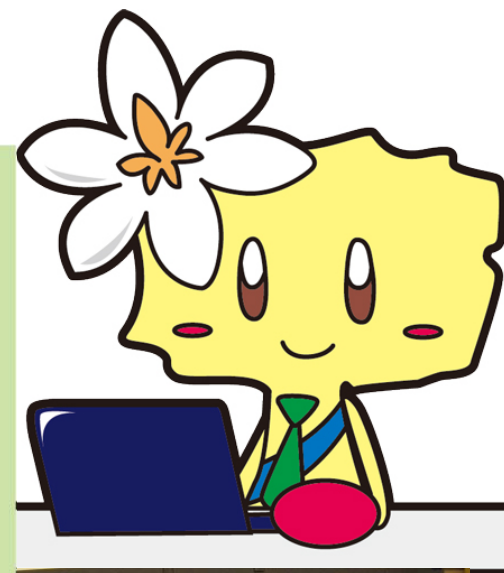
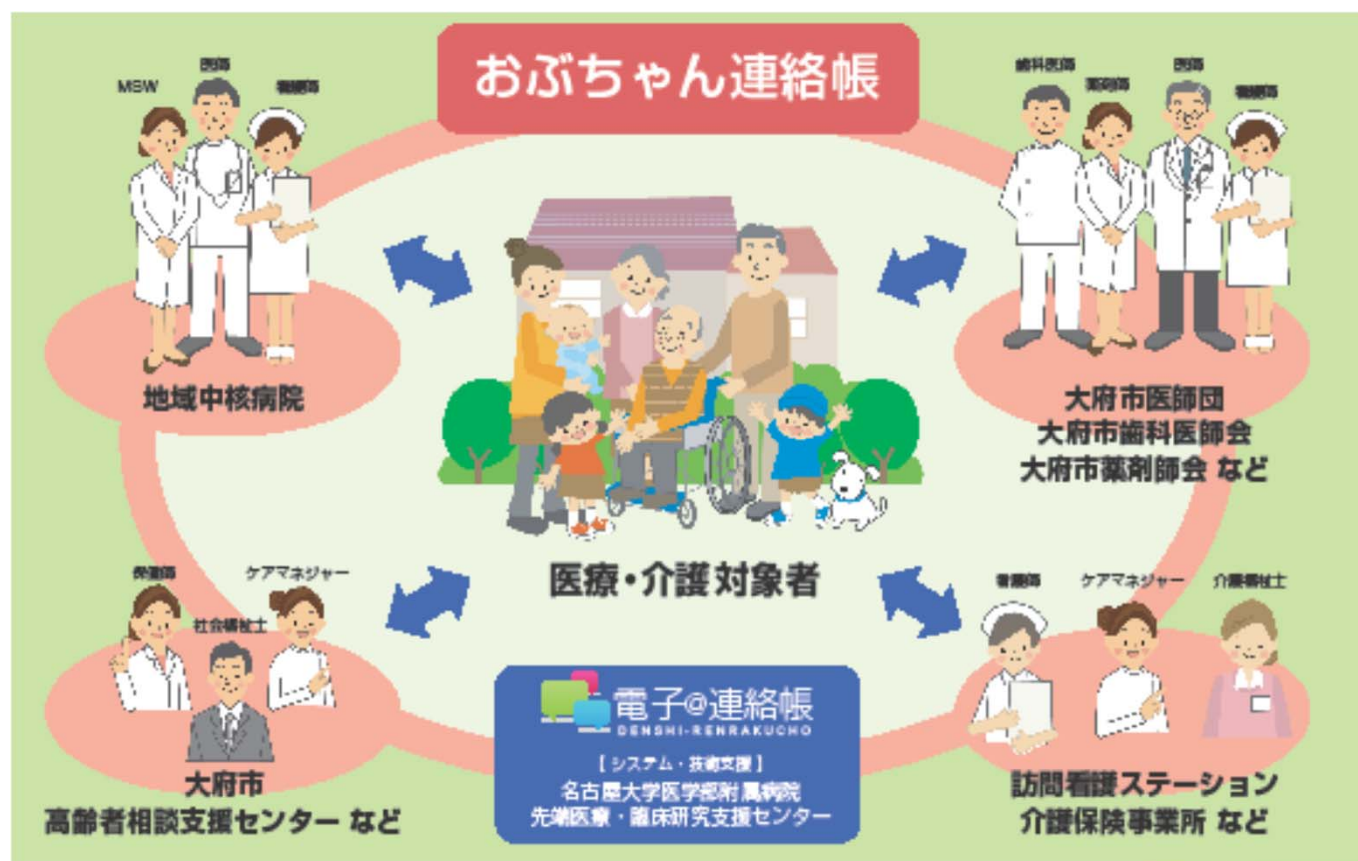


大府市
Welcome to OBU City

「みんな輝き 幸せ感じる 健康都市」

大府市医療・介護ネットワーク

「おぶちゃん連絡帳」の稼働(2月1日～)



8. 在宅医療連携拠点推進事業の実際

(2) 課題別 ワーキンググループ ②24時間体制

回	日時	会場	内容等
1	5月22日(木) 午後1時30分～	市役所地下 001～002	合同説明の後、各ワーキンググループ討議 ワーキンググループの進め方、日程の予定
2	6月11日(水) 午後1時30分～	市役所3階301 会議室	グループ制や主担当・副担当制の検討
3	7月 9日(水) 午後1時30分～	市役所2階 205会議室	事例を通して、24時間体制についてのグループワーク検討
4	10月1日(水) 午後1時30分～	市役所2階 207会議室	高齢者主役にした支援者シート①検討
5	1月21日(水) 午後1時30分～	市役所2階 207会議室	高齢者を主役にした支援者シート おおぶあったか「わたしの安心メモ」の検討 27年度について

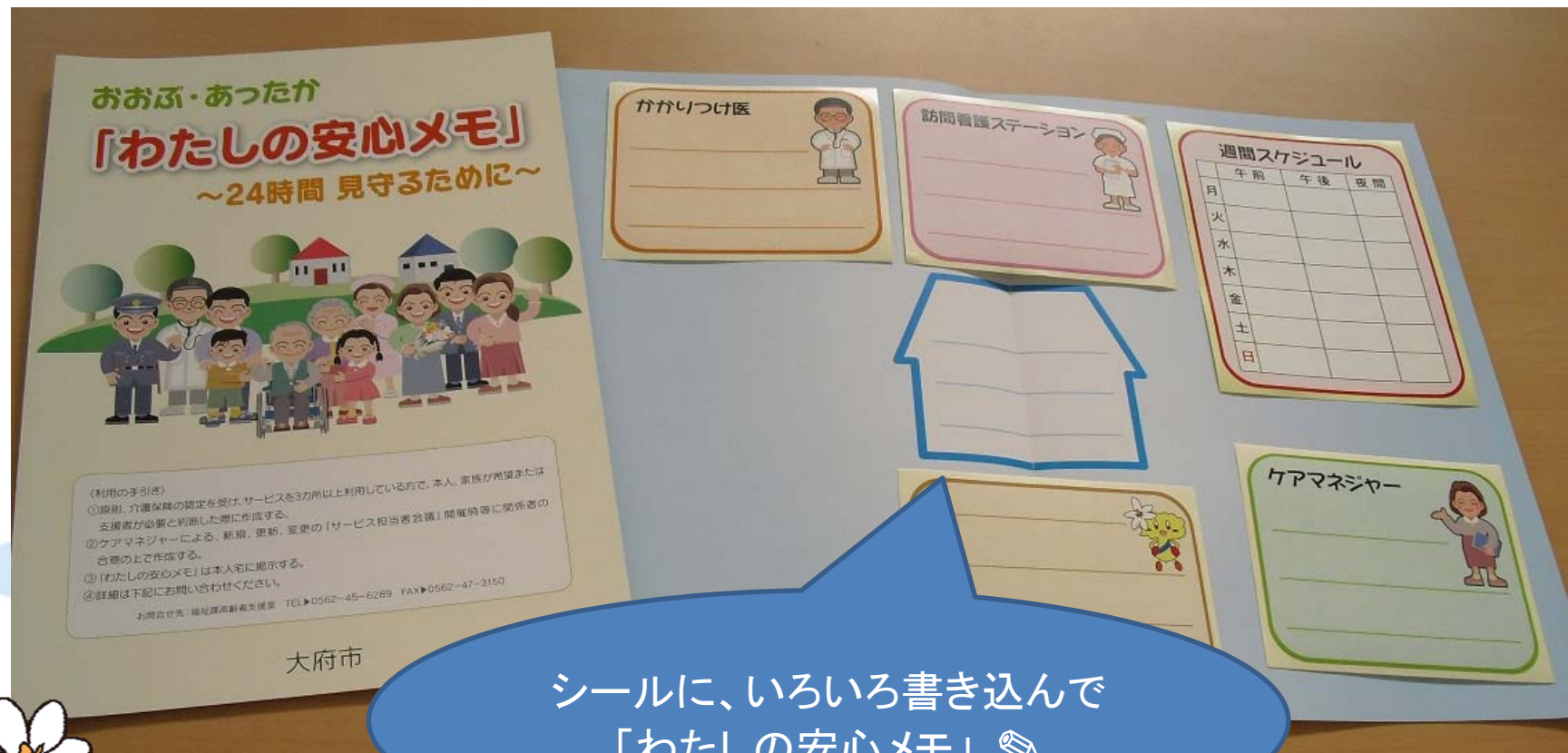


大府市
Welcome to OBU City

「みんな輝き 幸せ感じる 健康都市」

おおぶ あったか

「わたしの安心メモ」の完成と活用



8. 在宅医療連携拠点推進事業の実際

(2) 課題別 ワーキンググループ ③認知症対応

回	日時	会場	内容等
1	5月22日(木) 午後1時30分～	市役所地下 001～002	合同説明の後、各ワーキンググループ討議 ワーキンググループの進め方、日程の予定
2	6月23日(月) 午後1時30分～	市役所2階 207会議室	認知症の実態 高齢者相談支援センターの実績 アンケートの分析 事例検討
3	7月28日(月) 午後1時30分～	市役所2階 205会議室	今後の認知症対策について、認知症気がかりシートについて 8月20日～9月30日業務の中でシート記入試行
4	10月27日(月) 午後1時30分～	市役所2階 207会議室	気がかりシートを記入してみての気づき検討 おおぶあったか「もの忘れチェック」の検討
5	1月19日(月) 午後1時30分～	市役所2階 207会議室	おおぶあったか「もの忘れチェック」の検討 認知症ケアパスについて



大府市
Welcome to OBU City

「みんな輝き 幸せ感じる 健康都市」

おおぶ あったか 「もの忘れチェック」と気がかりシート の作成

初期症状をチェックしてみよう

初期段階のサインを発見できれば、治療や適切なケアにより、症状を軽くしたり、進行を遅らせたりすることが可能な場合があります。早期発見、早期受診に心がけましょう。

① ☐ 同じことを言ったり聞いたりする。	⑪ ☐ ささいなことで怒りっぽくなった。
② ☐ 置き忘れやしまい忘れが目立ってきた。	⑫ ☐ 蛇口、ガス栓の閉め忘れ、火の用心ができなくなった。
③ ☐ 物の名前が出てこなくなった。	⑬ ☐ 複雑なテレビドラマが理解できない。
④ ☐ 薬の管理ができなくなった。	⑭ ☐ 料理の手順が悪くなった。
⑤ ☐ 以前はあった関心や興味が失われた。	⑮ ☐ 機械の操作が覚えられない、使いこなせない、使い方を忘れる。
⑥ ☐ だらしくなった。	⑯ ☐ 思考が遅くなった、判断力が落ちた。
⑦ ☐ 日課をしなくなった。	⑰ ☐ 夜中に急に起き出して騒いだ。
⑧ ☐ 時間や場所の感覚が不確かになった。	⑱ ☐ 幻覚を見る。
⑨ ☐ 慣れたところで道に迷った。	
⑩ ☐ 財布などを盗まれたという。	

このチェックは、あくまで目安ですので、必ずしも認知症と診断されるわけではありません。

(国立長寿医療研究センターもの忘れ外来で使われているチェックリストより)

気がかりシート <ステップ1> 大府市

記入日: H. / . / H. / . / H. / . /	記入者:	所属機関:
氏名:	生年月日(明・大・期) 年 月 日	年齢: 歳
住所:	TEL:	性別: 男・女
※本人、家族()の個人情報提供同意の承諾 確認済・未確認		
1 気になることはありますか? (当てはまる項目に○チェックする。)		
◆ 相談者() いつ頃から? () どのように? (具体的に) ()		
◆ 今、気がかりなこと、困っていること(本人・家族・関係者) ☐ 同じことを言ったり聞いたりする。 ☐ ささいなことで怒りっぽくなった。 ☐ 置き忘れやしまい忘れが目立ってきた。 ☐ 蛇口、ガス栓の閉め忘れ、火の用心ができなくなった。 ☐ 物の名前が出てこなくなった。 ☐ 複雑なテレビドラマが理解できない。 ☐ 薬の管理ができなくなった。 ☐ 料理の手順が悪くなるなど、段取りがうまくできない。 ☐ だらしくなった。 ☐ 機械の操作が覚えられない。 ☐ 日課をしなくなった。 ☐ 使いこなせない、使い方を忘れる。 ☐ 時間や場所の感覚が不確かになった。 ☐ 思考が遅くなった、判断力が落ちた。 ☐ 疲れやすい。 ☐ 夜中に急に起き出して騒いだ。 ☐ 慣れたところで道に迷った。 ☐ 幻覚を見る。 ☐ 財布などを盗まれたという。 ☐ その他() (国立長寿医療研究センターもの忘れ外来で使われているチェックリストより)		
◆ 認知症の診断について 【 ☐ あり ☐ なし ☐ 不明 】		
・ 診断年月日 年 月 日 ・ 診断名 ☐ アルツハイマー型認知症 ☐ 前頭側頭型認知症 ☐ レビー小体型認知症 ☐ 脳血管性認知症 ☐ その他() ・ 医療機関名() 医師名()		
2 病気について (当てはまる項目に○チェックする。)		
・ 脳血管疾患の既往の有無 【 ☐ あり ☐ なし ☐ 不明 】→ある場合、病名() ・ 頭部外傷の既往の有無 【 ☐ あり ☐ なし ☐ 不明 】→ある場合、病名() ・ 心疾患の既往の有無 【 ☐ あり ☐ なし ☐ 不明 】→ある場合、病名() ・ 生活習慣病の有無 【 ☐ あり ☐ なし ☐ 不明 】→ある場合、病名() ・ 医療機関受診状況の有無 【 ☐ あり ☐ なし ☐ 不明 】→主な疾患名() ・ 医療機関名() ・ 医師名() ・ 診療科目() ・ 現在の投薬内容()		
3 対応について		
H. / . /		
H. / . /		

ワーキンググループの会議前
には、グループ内の有志と
前打合せ等を繰り返す

(3) 多職種連携研修会

地域の顔の見える関係づくり



多職種連携研修会

気軽に参加
研修＋
グループワーク
と懇親会を
セットに！
気軽に話す

回	日時	会場	内容等	参加人数
1	5月8日(木) 午後1時30分～	市役所多目的ホール	講義「在宅医療連携拠点推進事業とは～市の課題～」 講師 国立長寿医療研究センター 三浦久幸先生 グループ討議「大府市の在宅医療介護の現状をお互いに理解しよう」	90
2	5月17日(土) 午後4時～	スピカ多目的ルーム	5月8日(木)と同様の内容 懇親会午後6時～	73
3	5月20日(土) 午後3時30分～	保健センター	講義「地域包括ケアにおける在宅医療連携 ～地域のつながりを求めて～」 講師 牧医院(県医師会総合政策研究機構顧問) 牧靖典先生 豊明市南部地域包括支援センター田中貴教氏 グループ討議「在宅医療連携をより良くしていくには」 懇親会	85
4	11月6日(木) 午後1時30分～	市役所多目的ホール	講義「終末期医療、がん治療の最新情報」 講師 いきいき在宅クリニック院長 中島一光先生 長寿医療研究センター緩和・EOLケアチーム 医師 西川 満則先生	89
5	2月14日(土) 午後1時30分～	石ヶ瀬会館	講義「在宅における摂食・嚥下の評価と対応」 講師 知多郡歯科医師会長 内藤講一先生 講義「多職種と薬剤師の関わり方」 講師 大府市薬剤師会 加藤大策先生 多職種のグループワーク(情報交換) 懇親会	59



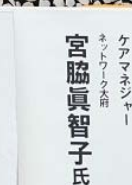
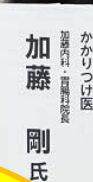
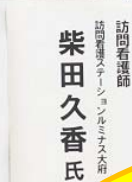
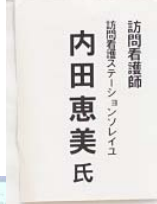
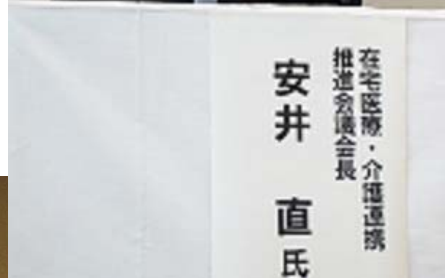


WHO健康都市おおぶ

(4) 市民啓発 市民公開講座 5/13



(4) 市民啓発 在宅医療・介護連携 in 大府3/1



在宅ケア事例報告等
&
秋山正子氏の講演
「在宅ケアの不思議な力」





9. 実績ロードマップ (25年度)

項目	事業名	25年度		
		1月	2月	3月
1 多職種連携の課題の抽出と解決策の検討	在宅医療連携拠点推進事業準備会議 (代表者 9団体)	23日	20日	13日
	地域医療連携研究会	14日		
	地域包括ケアシステム構築支援事業 (社会福祉協議会主催 市補助事業)		1日 23日	11日 23日
	認知症地域支援ネットワーク検討会議		24日	
	元気な幸齢社会を目指す検討会議 (8団体)		5日	10日
2 在宅医療従事者の負担軽減の支援	関係機関のアンケート調査の内容検討			アンケート案作成
	在宅看護事業所訪問	6日	3日 10日	
	医師例会において役員等の調整選出	28日		
	歯科医師例会において事業説明と協力依頼、委員の選出			12日
	薬剤師会例会において事業説明と協力依頼、委員の選出			26日
	定期巡回・随時対応型訪問介護事業所申請支援	17日		
3 効率的で質の高い医療提供のための多職種連携	大府健康長寿サポート会議に参加	16日	19日	18日
	知多郡医師会主催の医療・介護・福祉の連携強化に関する学術講演会に、在宅医療介護関連職員を勧奨し、事務局も参加して、電子@連絡帳の学習	25日		
	地域医療ネットワーク (Human Bridge) について学習		25日	
	在宅医療・介護チーム情報共有研究会	30日		
4 入院病床の確保及び家族の負担軽減に向けた取組み	長寿医療研究センターへの訪問打合せ		10日	
5 在宅医療に関する地域住民への普及啓発活動	市民公開講座 (長寿医療研究センター在宅連携医療部主催) 「自宅で大往生～「ええ人生やった」というために」後援とPR協力、当日参加		22日	



9. 実績ロードマップ（26年度）

項目	事業名	26年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 多職種連携の課題の抽出と解決策の検討	在宅医療・介護連携推進会議(代表者)	14日	29日		31日			9日	20日		29日		
	24時間体制WG		22日	11日	9日			1日			21日		
	情報共有(ICT含む)WG		22日	5日	10日	28日	25日				22日		
	認知症対応WG		22日	23日	28日			27日			19日		
	全体会議・多職種連携研修会		8,17日			30日			6日			14日	
2 在宅医療従事者の負担軽減の支援	関係機関のアンケート調査	発送	回答	集計	分析	まとめ案	まとめ	まとめ完成	まとめ配布		再調査依頼	再調査回収	
	24時間対応の在宅医療看護介護体制の情報収集と設立への支援						認可		開所				
3 効率的で質の高い医療提供のための多職種連携	多職種連携による地域ケア会議の開催	○会議	○会議	○会議	31日					4日			1日
	職種別研修会 介護支援専門員、訪問看護等		16日 ケアマネ	23日 民生児童委員				14日 ケアマネ	20日 歯科医と多職種合同			13日 ケアマネ	
	情報共有ICTツール「おぶちゃん連絡帳」の活用 情報共有ワーキンググループで検討					デモ版で試行、検討	稼働準備	稼働準備 → 説明会 → 稼働					
4 入院病床の確保及び家族の負担軽減に向けた取り組み	長寿医療研究センターとの支援病棟、地域医療連携室との連絡・連携、	16日	19日		24日		3日		13日 19日	11日	27日		9日
	近隣病院の地域医療連携室等との連携								14日刈谷豊田総合病院面談			4日藤田保健衛生大、5日南生協病院訪問	
5 在宅医療に関する地域住民への普及啓発活動	在宅医療に関するフォーラム	ホスター チラシPR	13日				企画	講師依頼	最終企画	チラシ完成	チラシ ポスター 完成	啓発PR	1日
	おおぶあったか「もの忘れチェック」認知症対応ワーキングで作成							企画	原案作成	業者選定	校正、 完成		
	おおぶあったか「わたしの安心メモ」24時間体制ワーキンググループで作成							企画	原案作成	業者選定	校正	完成関係機関への配布	

10. 27年3月のビジョン (26年4月の中間報告会にて発表)

◆市民が在宅医療を身近に感じることができる

在宅医療に関心を持つ人の増加

(市民講座時の意識調査 在宅医療連携拠点推進事業の推進を知っていたか?)

5月 31.0% ⇒ 3月59.3%

終を含め在宅生活を、自分で選べるまち

(市民講座時の意識調査 終を考えた時に、住み慣れた自宅で過ごしたいか?)

5月 68.0% ⇒ 3月58.7%

◆関係機関が在宅医療を通して、顔の見える関係となる。

在宅支援診療医師(4月4か所 ⇒ 2月6か所)、歯科医師(在宅療養支援歯科診療所
4月4か所 ⇒ 2月4か所)、薬剤師数(在宅医療受入薬局の増加4月未把握 ⇒ 2月8か所)
の増加

24時間体制の訪問看護事業所の増加(4月4か所 ⇒ 2月5か所)

24時間体制の訪問介護事業所の増加(4月0か所 ⇒ 2月1か所)

◆15か月以降も継続していける体制ができている。

介護保険の地域支援事業として、27年度～福祉課高齢者支援室を主事務局で継続



大府市

Welcome to OBU City

「みんな輝き 幸せ感じる 健康都市」



WHO健康都市おおぶ

11. 事業の評価指標 (4月の中間報告会にて発表)

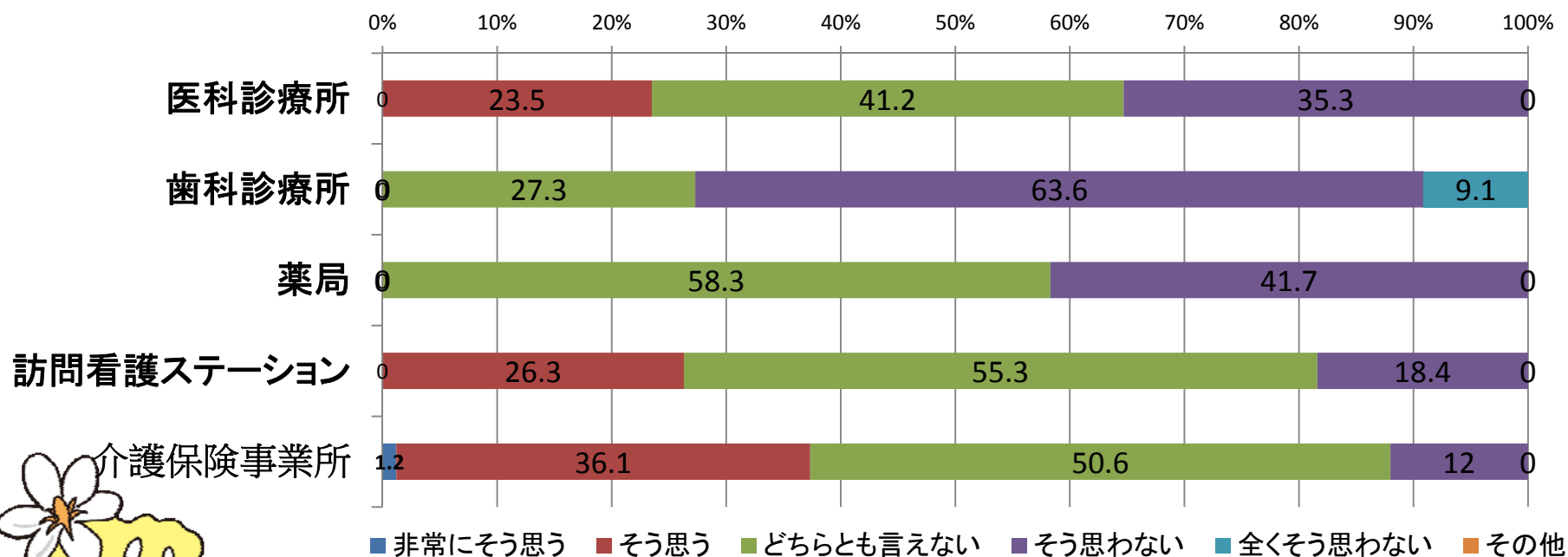
評価指標	25年12月実績	26年4月実績	27年2月末実績	27年3月目標
在宅医療・介護連携推進会議 準備会議(代表者会議)開催回数	0回(準備のみ)	3回(準備会議) + 1 回(代表者会議) = 4 回	代表者会議9回	代表者会議9回
在宅医療介護連携推進会議全体会 の参加人数	会議なし	3月23日 地域支え合い体 制づくりについて考える研修会 の参加人数70人	2/14第4回は59人 11/6第3回は89人	年度最後の会議の 参加人数 100人
居宅療養管理指導を月4人以上行う 医師(医療機関)数	2	4	5	4
24時間対応する訪問看護事業所数	3か所	3か所	4か所	4か所
24時間対応 定期巡回・随時対応 訪問介護看護事業所数	0か所	0か所	1か所	1か所
上記指定ではないが、24時間対応 可能な訪問介護事業所	1か所	1か所	1か所	4か所
在宅療養支援診療所数(県医師会あ いち在宅医療ネットより)	4医療機関	4医療機関	6医療機関	増加
訪問看護実施数(事業所の実績報告)	未把握	350人	549人	増加
市民意識調査(65歳以上)在宅医療 の満足度	未実施	在宅医療連携拠点 推進事業の周知度 5月31%	同左 3/1市民講座 59.3%	上昇
市民向けフォーラム、講演会数	0回	1回	2回 (3/1、開催予定)	3回

12. モデル事業の成果

(1) 会議や多職種連携研修会に参加している方は、
顔の見える関係が必要と認識していることがわかった。

○現在多職種との「顔の見える関係」が取れていると思いますか？

関係機関意識調査(27年1月配布、2月回収)

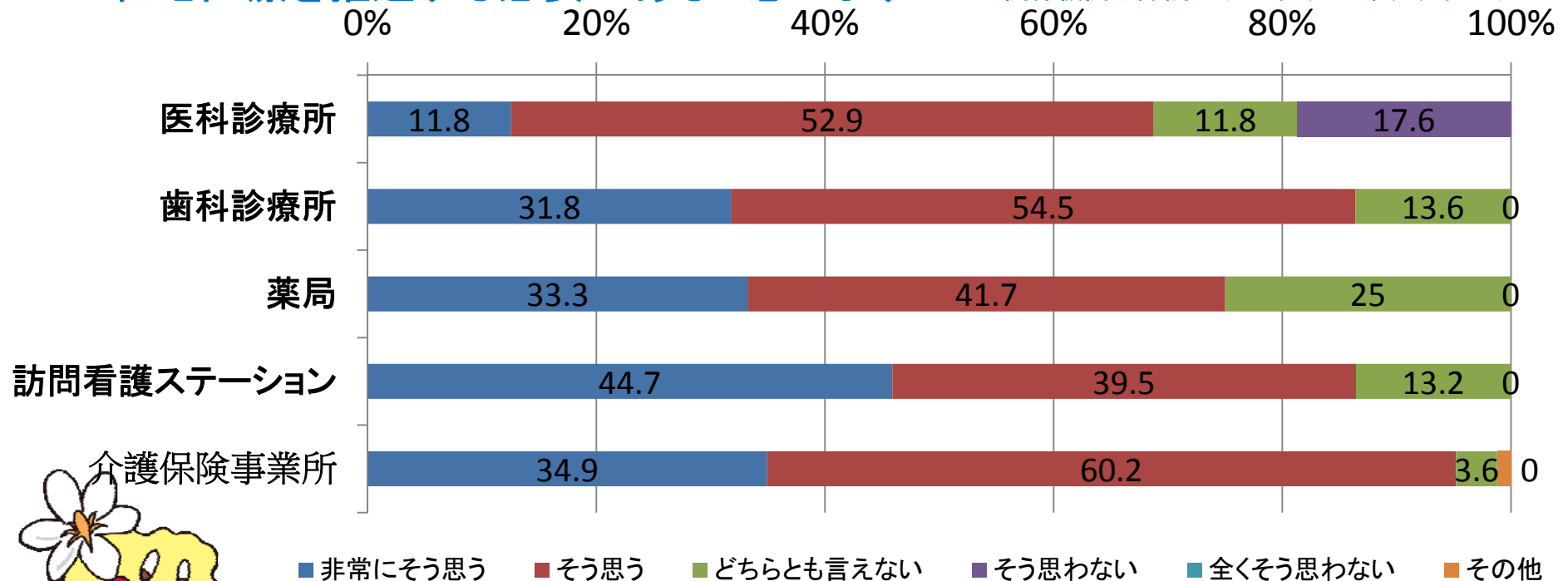


12. モデル事業の成果

(2) 在宅医療を推進する必要性を感じている職種に格差。

また、同職種内にも熱意に温度差があることがわかった。

○在宅医療を推進する必要があると思いますか？ 関係機関意識調査(27年1月配布、2月回収)



12. モデル事業の成果

- (3) 知多北部広域連合及び他の構成市町に、研修会等の際に参加勧奨し、27年度は3市1町ともに在宅医療・介護連携推進事業を開始予定となった。
- (4) 情報共有ツールとして、ICTの導入により、新たな連携方法が開始された。
- (5) 在宅医療についての必要性について、情報発信や市民啓発活動を開始することができた。



13. 10年後のビジョン (26年4月の中間報告会にて発表)

「幸齢社会の実現」

～誰もが大阪府で暮らして、幸せを実感できるまち～

- 
- ◆在宅医療があたりまえのまち
 - ◆エンディングは自分で決めることができるまち
 - ◆子どもから大人まで、誰もがかかりつけ医を持つまち
 - ◆認知症・介護を予防できるまち
 - ◆住み慣れた地域で暮らしていけるまち



大府市

Welcome to OBU City

「みんな輝き 幸せ感じる 健康都市」

14. 今後の課題

- (1) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制づくりの推進
- (2) 在宅医療・介護推進者を一人でも増やす
- (3) 市民への在宅医療の浸透

対策

多職種の力（ワーキンググループ）で検討

対策

研修やツールの活用等を通して、
地道な働きかけの継続

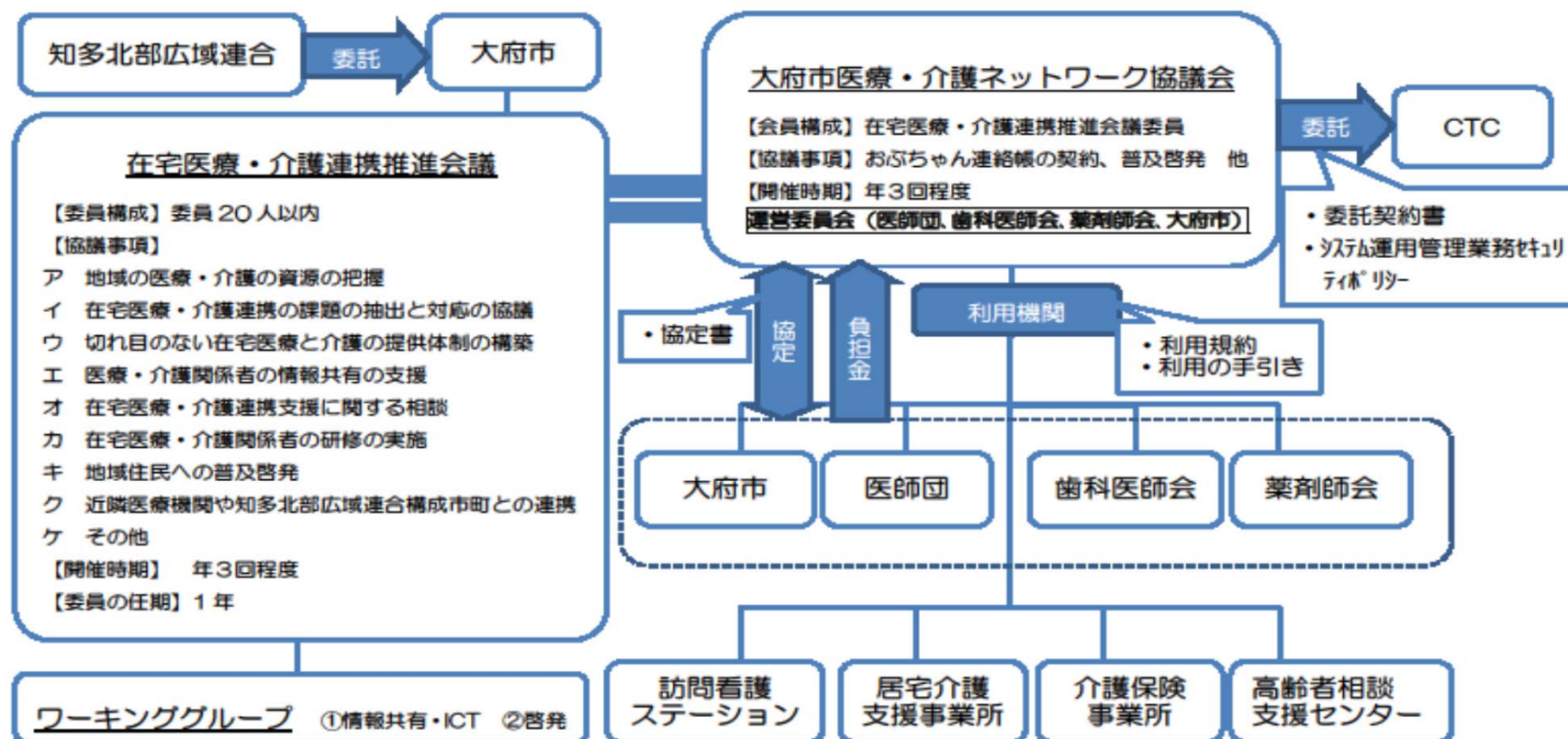


大府市
Welcome to OBU City

「みんな輝き 幸せ感じる 健康都市」

15. 27年度に向けての体制

大府市の在宅医療・介護連携推進事業の全体図





WHO健康都市おおひ

16. 27年度の事業計画

27年度 大府市在宅医療・介護連携推進事業 ロードマップ (27年2月25日現在)

項目	事業名	26年度			27年度											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ア 地域の医療・介護資源の把握	関係機関のアンケート調査	実施・回収 ☆発送	☆回答 集計・分析等	マッ プ リ ス ト 化	概要報告 更新	報告書作成 更新	HP 公開 更新							実施・回収 ☆発送	☆回答 集計・分析等	更新
	医療・介護関係者のマップやリストの更新(月1回め やすに更新)															
イ 在宅医療・介護連 携の課題の抽出と対 応の協議	在宅医療・介護連携推進会議(代表者)	29日			1日							会議			会議	
	同ワーキンググループ (WGと記載する)	21・22 日				WG		WG				WG		WG		
	※啓発(新規グループ)					WG		WG				WG		WG		
	地域ケア会議(随時)			○			○			○			○			○
ウ 切れ目のない在宅医 療と介護の提供体制 の構築	在宅医療・介護連携推進会議 イにも記載あり													WG		
	情報共有・24時間体制ワーキンググループで検討	WG				WG		WG			WG					
エ 医療・介護関係者 の情報共有の支援	おぶちゃん連絡帳の活用				市で運営 → 大府市医療・介護ネットワーク協議会で運営											
	大府市医療・介護ネットワーク協議会				1日						会議				会議	
	おぶちゃん連絡帳運営委員会 事故発生時等には臨時運営委員会開催あり				委員会		委員会		委員会		委員会			委員会		
	おぶちゃん連絡帳活用研修会(職種別等)			19・ 20日		研修										
オ 在宅医療・介護連携 支援に関する相談	福祉課高齢者支援室で相談の受付(随時)				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カ 在宅医療・介護関 係者の研修の実施	多職種連携研修会							研修				研修			研修	
キ 地域住民への普及 啓発	市民講座			1日 開催						企画	講師依頼	最終企画	チラシ 完成	PR	○	講座開催
	在宅医療・介護連携推進会議 イにも記載あり 啓発ワーキンググループで検討					WG		WG			WG			WG		
ク 近隣医療機関や知 多北部広域連合構成市 町との連携	保健所会議(知多圏域医療福祉推進会議)等における調整、情報交換	WG 会議	会議					WG 会議	会議					WG 会議	会議	
	知多北部広域連合関係会議における連携	部課長 ・担当者 会議			部課長 ・担当者 会議	部課長 ・担当者 会議	担当者 会議	部課長 ・担当者 会議		担当者 会議	部課長 ・担当者 会議	部課長 ・担当者 会議	担当者 会議	部課長 ・担当者 会議	担当者 会議	
	近隣市町の病院との連携(随時)				随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時
	事業等の近隣市町と情報交換、連絡調整(随時)	○	○	○	○		○			○	○		○	○		
ケ その他	地域医療連携研究会との連携					○						○				
	大府市健康づくり対策審議会との連携						○								○	

17. 問合わせ先



大府市役所福祉子ども部福祉課高齢者支援室

メール：fukushi@city.obu.lg.jp

電話 : 0562-47-2111(代表)内線365
0562-45-6289(直通)

FAX : 0562-47-3150

住所 : 〒474-8701

大府市中央町五丁目70番地

